

報告第6号

令和6事業年度

決 算 報 告 書

一般財団法人 対馬地域商社

令和6年度事業経過報告

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

令和6年度は対馬近海における水産業の不漁の影響で加工原料の減少が目立ち、特に主要原料である剣先いかやあなごが年度当初より激減し原料価格も高騰し、仕入が困難でありました。また、青さやうになどの海産物についても皆無といった状況であり、加工事業において厳しい経営が強いられた不安定な一年でありました。一方では昨年度末に移転し新装開店した直売店「心まち」の売上が好調であり、今後の地域商社としての事業展開の变革が期待できる一年でもありました。

このような状況下、令和6年度事業計画に基づき業務の効率化、人材育成などを強化し商品価値の向上を目指し、新商品開発販売や主力商品のあなご、あじ、いかの原料確保に努め、長崎県漁連帳合のグリーンコープなどの取引継続業者への販売強化に努めてまいりました。

令和6年度の目標売上高を令和5年度売上高の110,673千円から15%増の127,400千円を予定していましたが、決算売上高は108,999千円と目標を達成することができませんでした。前年度対比98.5%、予算対比85.6%の結果となりました。

あなご、剣先いか等地元原料の不足、さらに原料価格の高騰、継続取引に伴い高額な島外原料の調達など厳しい状況の中にあって水産加工業者として生き残っていくためにも取引会社から取引停止をされないよう組織の基盤を強化することが重要なことであり、加工場の衛生管理と社員への衛生教育はもとより、生産コスト縮減など収益力の向上に努めました。

令和6年度純損失9,747,022円となったことを報告いたします。

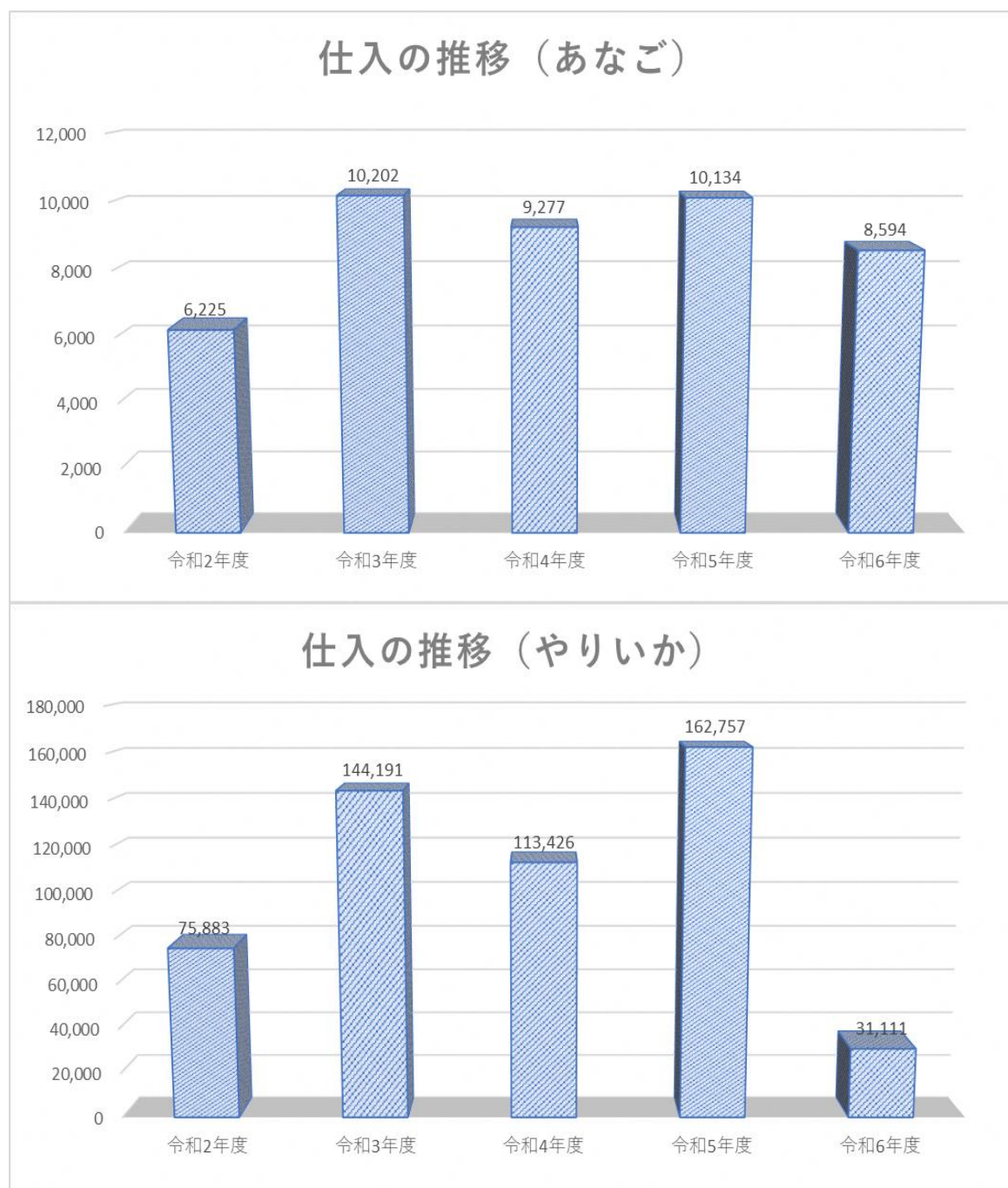
対馬地域商社事業内訳は下記のとおりとなっています。

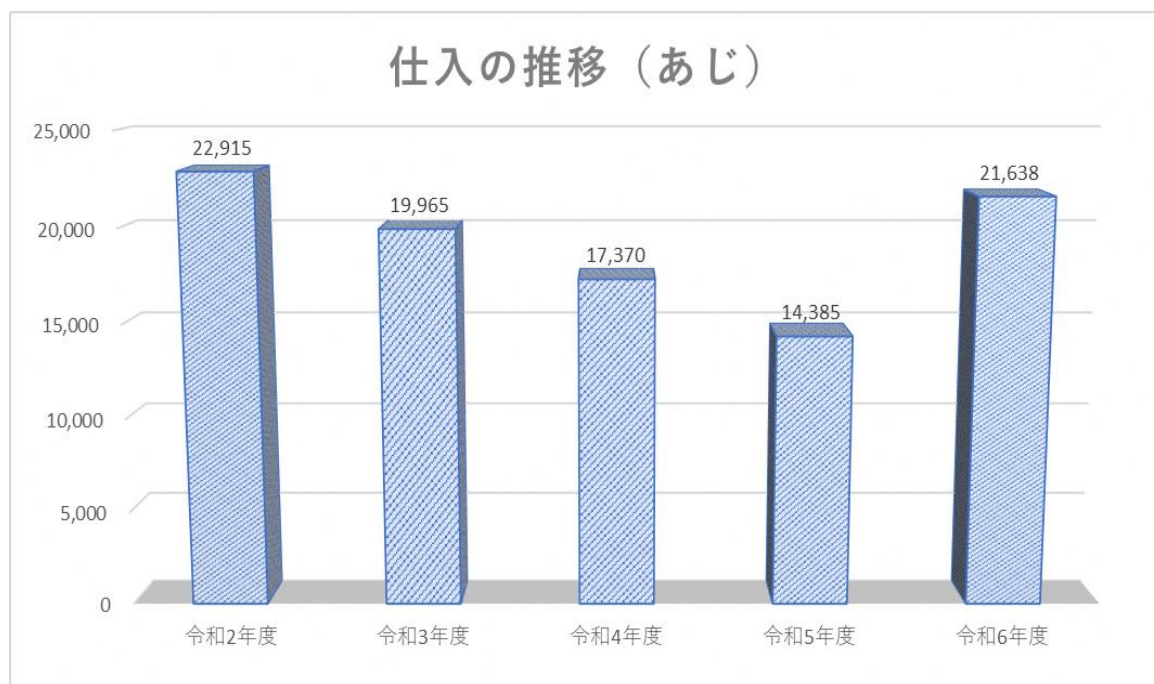
【原料仕入】

令和6年度の主要原料（あなご：剣先いか：あじ）の仕入実績につきまして、あなごにつきましては昨年度まで取引のあった長崎県漁連（上対馬）からの仕入れが出来ず地元漁師からの仕入だけとなったため、前年度対比84.8%の8,594kの仕入にとどまりました。剣先いかにつきましては地元定置網業者が不漁により主力の4段、3段の仕入が出来ず、いか一本釣漁業者についても価格が高騰し仕入れることができませんでした。また取引継続商品や新商品企画により新たな商品取引が必要なためや無負えず島外より高額

な原料を仕入れることとなりやりいかについては、前年度対比19.1%の31,111匹の仕入となりました。あじにつきましては剣先いかの不漁に伴い全体の売り上げを確保するため、仕入を増加し販売に努めました。前年度対比150.4%21,638kの仕入となりました。

主要原料の仕入状況は下記のとおりです。



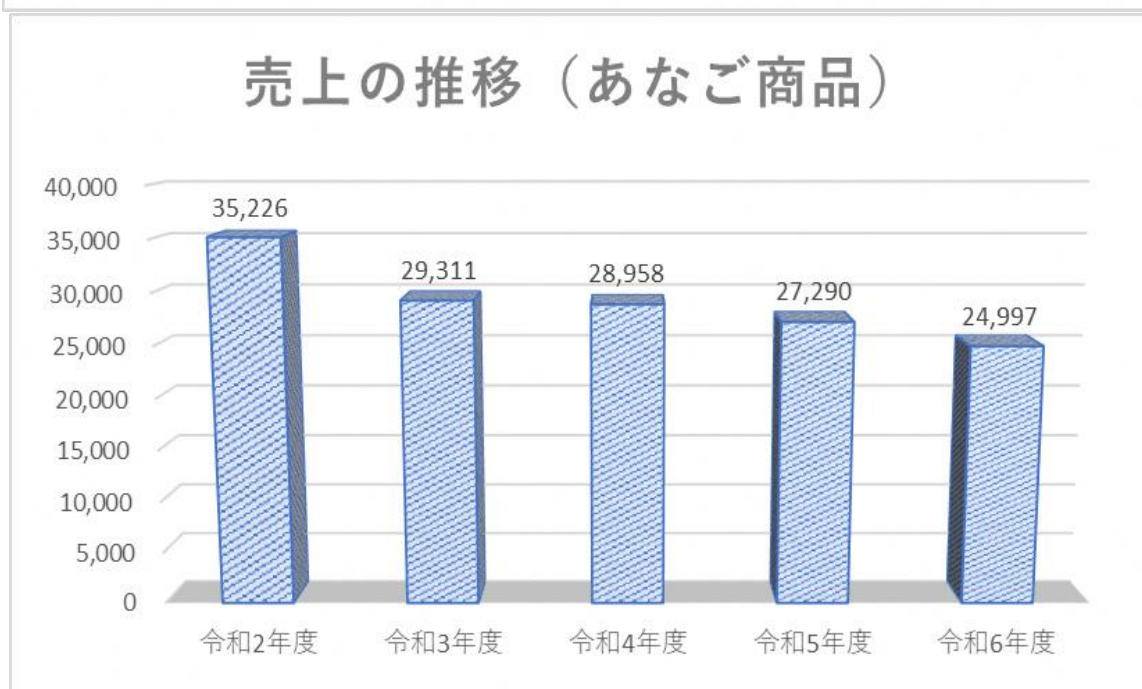
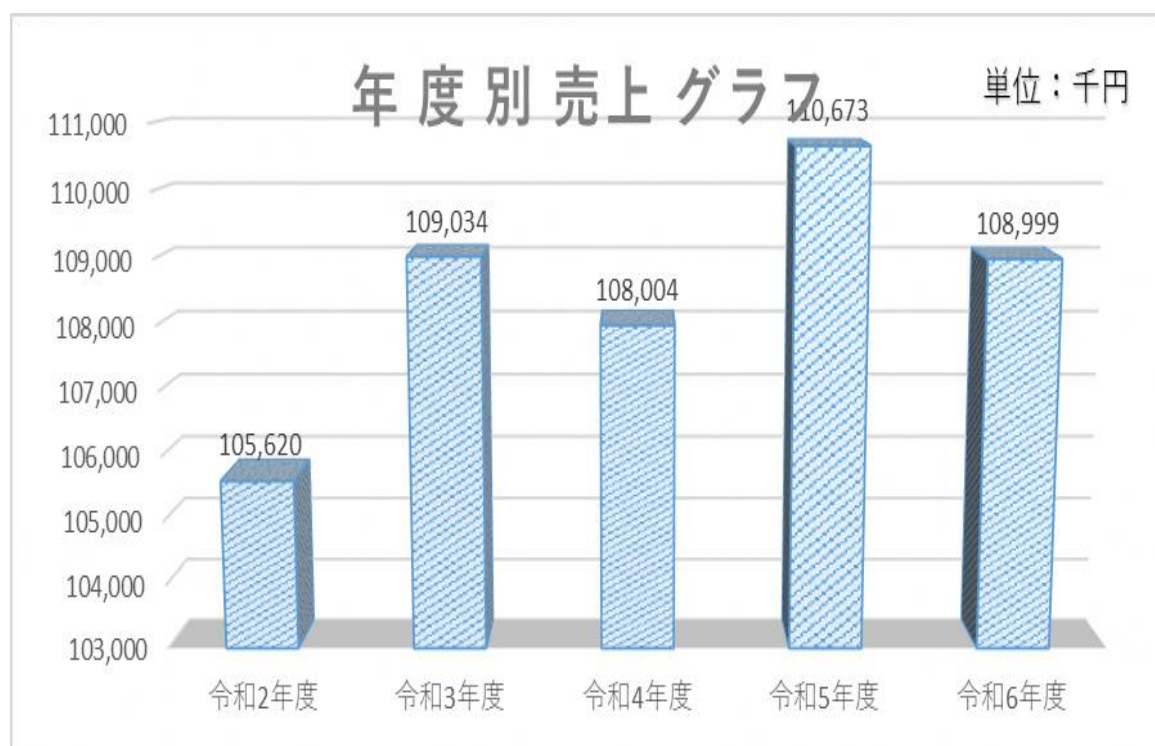


【売上状況】

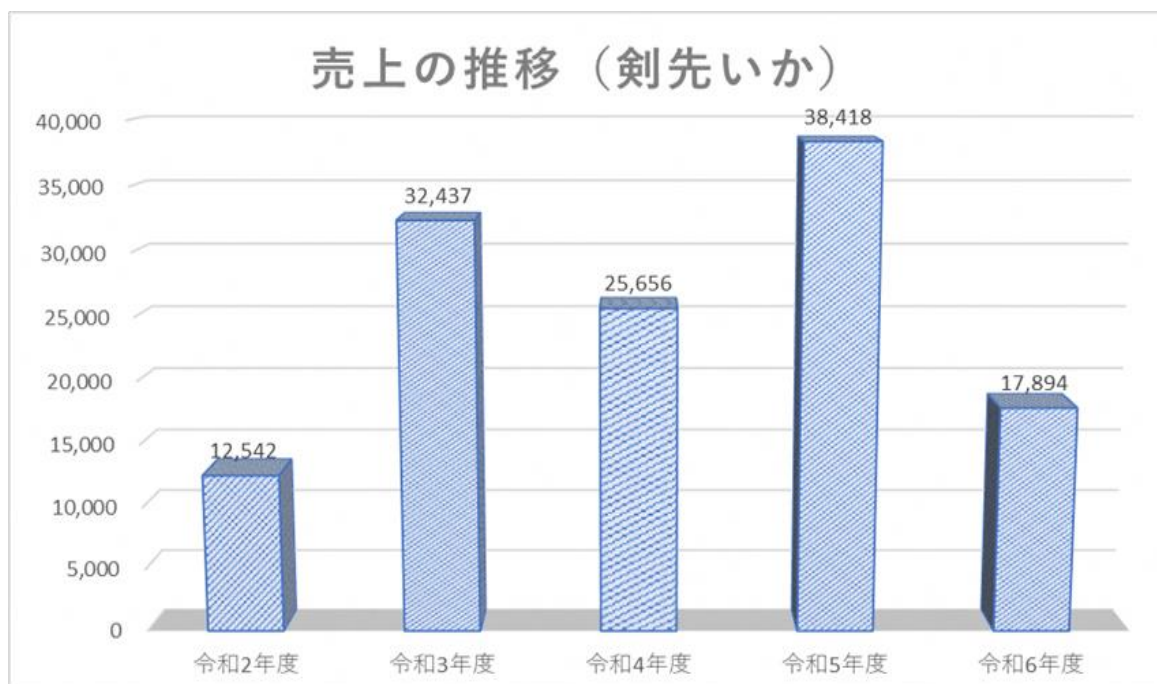
売上状況につきましては、漁業不振に伴う原料不足により前年度好調でありました剣先いかの一本凍結22,000千円分の売上が確保出来ず、そのうえ大口の一本凍結以外の剣先いかの商品取引が減少しており加工場売上、ふるさと納税返礼品の件数に影響し、前年度売上を大きく下回っております。しかしながらそのような中で直売店「心まち」の売上が好調で、地元の出店者数も増やし品数が増加したことで知名度も上がり賑わいを見せております。また島外物産展につきましても新たに、イオンモール福岡での出店を実施し、自社商品だけでなく対馬しいたけ、かすまき、白嶽酒造の商品等を販売し対馬のPR活動を強化しました。さらに昨年度より実施しております長崎県庁における県内離島（五島・壱岐・対馬）産品即売会も交流を目的として取り組んでおります。昨年度より企画しておりました剣先いかの刺身など新商品の取引のため原料が必要となり島外より仕入れ販売しました。

① 加工場製造販売	60,869千円	予算対比	73.8%
② ギフトふるさと納税業務	11,524千円	予算対比	84.0%
③ 心まち	36,606千円	予算対比	252.0%

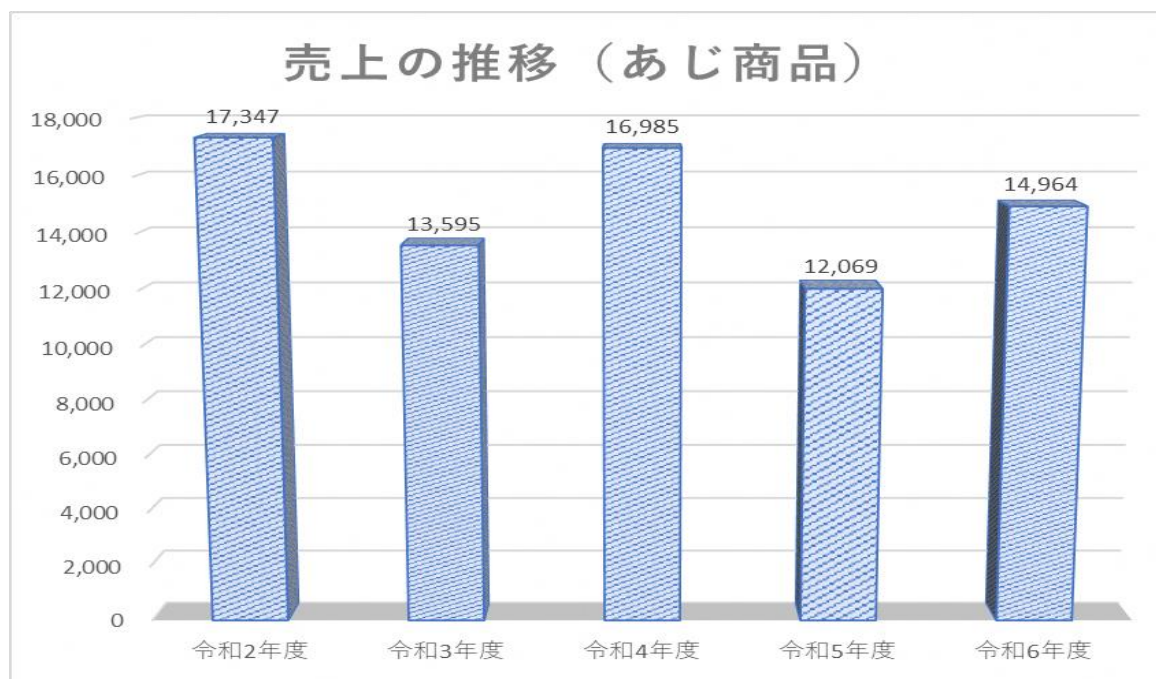
年度別売上状況及び主要加工原料のあなご、剣先いか、あじの魚種別売上状況は下記のとおりとなっています。



あなごの売上につきましては、原料不足が影響し取引数量が減少したため売上も減少しておりますが、活貝加工のこだわりにより信頼できる食材として年々取引が増加しているお客様もあり、今後も「対馬産活貝あなご」としてこだわりをもった加工と商品開発を継続していきます。



剣先いかの売上につきましては、定置網漁業、いか一本釣り漁業の不漁により主力の原料である4段・3段サイズのいかが入荷できず、昨年度好調であった3段いかの一本凍結が出荷できなかったことと4段サイズの剣先いか一夜干しなどの商品も取引が少なく大幅に売上が減少しました。また前年度より長崎県漁連と企画を勧めておりました新商品の「ばりうま剣先いかの刺身用」の受注があり、今後の取引推進のため島外より原料を仕入れ販売しました。



あじにつきましては、剣先いかの不漁により長崎県漁連帳合のグリーンコープの受注数量が減少すること見こし、あじ商品の販売に特化したことで売上も伸ばすことができました。

○ギフト・ふるさと納税

ふるさと納税につきましては、主力商品の原料不足により受注を停止したものもあり売上は減少しております。返礼品の内容についても商品企画がマンネリ化しており寄付者が偏る傾向にあると思われます。今後においては人気商品以外の商品の見直し対馬らしさをアピールしていきます。

ギフト商品につきましては、例年とほぼ同じ売上となっておりますが、今後においては、内容はもとより宣伝を強化していきます。

○直売店「心まち」

前年度末に店舗を移転し「心まち」として営業してきました。売り場を広く明るく、お客様が落ち着いて買い物できるよう陳列し、個人法人を問わず島内より募集をし、食料品、工芸品、衣料品など品数を多く販売してきました。その結果例年の倍以上売り上げることができましたが、今後継続的に売上を伸ばすためにもタイムリーな企画や衛生的で明るい売り場の管理、品切れを起こさない在庫管理などを徹底することが必要であると思います。またお客様に対する店員の言動は直接売上に反映してきますので日ごろから社員教育を徹底する必要があると考えております。

【まとめ】

令和6年度は主要原料であなご、剣先いかの水揚げが激減し仕入ができなかったことにより、あなごの開き、剣先いか一本凍結や一夜干しの売上を伸ばすことができず20,000千円以上の売上が減額となりました。このことが令和6年度の総合的な運営悪化の要因であります。更には保管原料不足により次年度への事業継続も危ぶまれる事態が考えられます。令和7年度におきましては、主要原料の確保に努めることはもとより、新商品開発及び原料の確保、新たな事業への転換も必要であると考えておりますが、資金不足、人材不足が重要な問題となってきます。今後における地域商社の事業内容の検討を早急に実施し、国・県・市等の事業を活用し継続性のある基盤

づくりに努めていかなければならず、「ピンチはチャンス！」の思いで今後の対馬地域商社の抜本的な構造改革を行うべきであると考えております。

地域商社機能としては、直売店「心まち」において島内生産者の販売強化を行い、島外物産展においても島内生産者の商品を販売し、対馬の観光PRも行っております。また、「よりあい処つしま」との協力により宣伝販売が強化できたものと思われ
ます。

雇用に関しましては、高齢化ではありますが工場で12名、直売店で4名の雇用を継続しております。

貸借対照表
令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	12,312,254	18,120,428	▲ 5,808,174
売掛金	2,668,939	5,954,023	▲ 3,285,084
未収金	392,762	206,895	185,867
商品	15,523,477	13,573,090	1,950,387
貯蔵品	6,770,824	5,808,769	962,055
前払費用	35,606	20,224	15,382
未収還付法人税金	0	0	0
貸倒引当金	▲ 26,000	▲ 59,000	33,000
立替金	0	74,672	▲ 74,672
流動資産合計	37,677,862	43,699,101	▲ 6,021,239
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(2) その他固定資産			0
建物	2,357,189	2,802,539	▲ 445,350
構築物	0	96,194	▲ 96,194
機械装置	1	1	0
車両運搬具	7	7	0
器具器具備	36,500	0	36,500
敷金	337,189	422,057	▲ 84,868
敷金	17,480	17,480	0
その他固定資産合計	2,748,366	3,338,278	▲ 589,912
固定資産合計	7,748,366	8,338,278	▲ 589,912
資産合計	45,426,228	52,037,379	▲ 6,611,151
II. 負債の部			0
1. 流動負債			0
買掛金	2,460,861	258,483	2,202,378
未払金	1,901,933	5,199,973	▲ 3,298,040
預り金	767,458	1,016,525	▲ 249,067
未払法人税等	81,000	81,000	0
未払消費税等	653,100	164,500	488,600
流動負債合計	5,864,352	6,720,481	▲ 856,129
2. 固定負債			
長期借入金	3,992,000	5,000,000	▲ 1,008,000
固定負債合計	3,992,000	5,000,000	▲ 1,008,000
負債合計	9,856,352	11,720,481	▲ 1,864,129
III. 正味財産の部			0
地方公共団体助成金	0	0	0
1. 指定正味財産合計	5,300,000	5,300,000	0
(うち基本財産への充当額)	▲ 5,000,000	▲ 5,000,000	0
2. 一般正味財産	30,269,876	35,016,898	▲ 4,747,022
正味財産合計	35,569,876	40,316,898	▲ 4,747,022
負債及び正味財産合計	45,426,228	52,037,379	▲ 6,611,151

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
売上高	108,999,310	110,673,364	▲ 1,674,054
受入補助金	13,992,630	14,127,295	▲ 134,665
受取地方公共団体補助金	13,992,630	14,127,295	▲ 134,665
出捐金	0	0	0
雑収益	342,058	728,662	▲ 386,604
受取利息	5,753	270	5,483
受入手数料	320,484	708,637	▲ 388,153
その他雑収入	15,821	19,755	▲ 3,934
経常収益計	123,333,998	125,529,321	▲ 2,195,323
(2) 経常費用			
事業費	121,746,660	112,357,355	9,389,305
仕入	58,292,135	55,963,322	2,328,813
給料	32,939,044	28,804,168	4,134,876
法定福利費	5,628,821	5,248,068	380,753
厚生費	168,517	83,630	84,887
交際費	44,098	83,709	▲ 39,611
旅費	2,004,404	2,260,034	▲ 255,630
広報費	367,834	120,974	246,860
通信費	327,297	372,030	▲ 44,733
運賃	3,604,335	3,760,685	▲ 156,350
減価償却費	340,449	13,090	327,359
消耗品費	2,049,643	2,120,077	▲ 70,434
修繕費	494,980	325,140	169,840
水道光熱費	0	213,300	▲ 213,300
水車経費	9,919,353	8,310,898	1,608,455
リネース料	999,980	1,077,492	▲ 77,512
地代家賃	1,747,060	878,290	868,770
損害保険料	212,361	323,564	▲ 111,203
租税公課	165,030	188,980	▲ 23,950
負担金	117,737	163,464	▲ 45,727
支払手数料	271,788	158,774	113,014
支払利息	1,483,456	1,421,884	61,572
雑費	65,724	5,859	59,865
棚卸資産廃棄	87,132	41,436	45,696
寄附金	434,482	441,487	▲ 7,005
貸倒引当金の増減額	14,000	6,000	8,000
管 理 費	▲ 33,000	▲ 29,000	▲ 4,000
給料	8,580,820	8,251,599	329,221
法定福利費	6,457,281	6,327,656	129,625
厚生費	866,363	938,767	▲ 72,404
交際費	11,252	7,232	4,020
旅費	0	0	0
会議費	2,474	2,489	▲ 15
通信費	16,204	16,951	▲ 747
減価償却費	0	0	0
消耗品費	396,446	225,210	171,236
水道光熱費	33,136	35,135	▲ 1,999
水車経費	30,001	20,925	9,076
リネース料	248,160	276,000	▲ 27,840
特定寄付金	100,000	100,000	0

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
租 税 公 課	14,024	5,550	8,474
負 担 金	29,000	29,000	0
支 払 手 数 料	298,570	214,158	84,412
雑 費	77,909	52,526	25,383
経常費用計	130,327,480	120,608,954	9,718,526
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 6,993,482	4,920,367	▲ 11,913,849
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	▲ 6,993,482	4,920,367	▲ 11,913,849
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
固 定 資 産 圧 縮 損	603,199	4,938,998	▲ 4,335,799
固 定 資 産 除 却 損	2,068,464	0	2,068,464
経常外費用計	2,671,663	4,938,998	▲ 2,267,335
当期経常外増減額	2,671,663	4,938,998	▲ 2,267,335
税引前当期一般正味財産増減額	▲ 9,665,145	▲ 18,631	▲ 9,646,514
法人税、住民税及び事業税	81,877	81,038	839
当期一般正味財産増減額	▲ 9,747,022	▲ 99,669	▲ 9,647,353
一般正味財産期首残高	35,016,898	35,116,567	▲ 99,669
一般正味財産期末残高	25,269,876	35,016,898	▲ 9,747,022
II. 指定正味財産増減の部			0
受 入 補 助 金	0	0	0
受入地方公共団体助成金	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,300,000	5,300,000	0
指定正味財産期末残高	5,300,000	5,300,000	0
III. 正味財産期末残高	30,569,876	40,316,898	▲ 9,747,022

財産目録

令和7年3月31日現在

収益事業等会計

(単位：円)

勘定科目		場所・数量等	使用目的	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金	329,240
	預金	普通預金		6,983,014
		十八親和銀行豊玉支店（普）7554		5,006,359
		十八親和銀行豊玉支店（普）1007237		208,458
		十八親和銀行豊玉支店（普）1015965		0
		九州信漁連長崎統括支店（普）1361833		1,214,042
		対馬農協中対馬支所（普）4989104		78,033
		ゆうちょ銀行（普）17600 19968331		260,759
		ゆうちょ銀行振替口座1720-7-67517		215,363
	売掛金			2,668,939
	未収金			392,762
	商品			15,523,477
	貯蔵品			6,770,824
	前払費用			35,606
立替金		0		
貸倒引当金		▲ 26,000		
未収還付法人税等		0		
流動資産合計				32,677,862
(固定資産)	基本財産			
	定期預金	九州信漁連長崎統括支店（定）1361833-073		5,000,000
	建物			2,357,189
	建物付属設備			0
	構築物			1
	機械装置			7
	車輛運搬具			36,500
	工具器具備品			337,189
	敷金			17,480
	固定資産合計			
資産合計				40,426,228
(流動負債)	買掛金			2,460,861
	未払金			1,901,933
		対馬農協		1,900
		博多海陸運送(株)		20,405
		ヤマト運輸(株)		32,251
		対馬市水道局		24,000
		國分石油		27,729

勘定科目		場所・数量等	使用目的	金額
	未払金	齊藤商事		22,549
		佐川急便		20,086
		九州電力		714,744
		NTT西日本		17,955
		対馬システム		17,820
		長崎県南年金事務所		785,933
		田口自動車		82,310
		豊玉町漁協		13,324
		峰町商業組合		110,279
		丸本（株）		10,648
	預り金			767,458
		社会保険料・厚生年金		767,458
	未払法人税等			81,000
	未払消費税等			653,100
流動負債合計				5,864,352
(固定負債)	長期借入金			3,992,000
固定負債合計				3,992,000
負債合計				9,856,352
正味財産				30,569,876

監査結果報告書

一般財団法人対馬地域商社定款第 23 条 1 項の規定により
監査した結果、その内容は適当と認めます。

一般財団法人 対馬地域商社

代表理事 日 高 寿 一 様

令和 7 年 5 月 2 0 日

監 事 平 山 秀 樹 

監 事 古 藤 俊 泰 